

(2) 飛鳥歴史公園のなかでのキトラ古墳周辺地区の役割

1) キトラ古墳周辺地区が求められる役割

これまでのキトラ古墳周辺地区の機能を以下のように設定する。

史跡や風土を活用した体験学習及び情報提供機能

なお、本地区が既存の飛鳥周遊ルートから外れていることを考慮し、飛鳥周遊歩道の強化並びに公共交通による既存地区等とのネットワーク化を図るための機能・施設の整備を図ることとする。既存地区との連携役割分担を踏まえ、本地区に導入する機能を以下の通りとする。

古墳周辺環境の保全・修景機能

- ・キトラ古墳本体とそれを包蔵する周辺環境の一体的保全
- ・古墳鑑賞の場となる広場の創出と修景

体験的歴史学習機能

- ・飛鳥地域全体の史跡や展示施設に関する情報提供
- ・新しい展示手法を活用した体験型展示施設（屋内展示施設）の整備
- ・歴史的風土の中で行う体験学習フィールド（棚田、畑、里山）の創出
- ・既存地区の施設とリンクした体験プログラムの実施

歴史的風土（農地・森林）の保全・創出機能

- ・来園者と地域住民による農地・森林管理への参加と交流
- ・自然とのふれあい、休息、展望、散策等が楽しめる空間の創出

参加と交流を目指した新しい公園管理機能

- ・公園ボランティアのセンター施設
- ・史跡や歴史的風土の保全を目指す東アジアの活動団体との情報交換や交換留学などの国際交流
- ・資源循環型公園管理のためのリサイクル施設

飛鳥周遊および情報拠点機能

- ・既存4地区や史跡等との連携を図るため、公共交通(周遊バス、レンタサイクルなど)による周遊を可能とするパークアンドライド対応の駐車場と乗降場の設置
- ・飛鳥周遊の結節点としての周遊情報の提供

これらの求められる役割を踏まえ、国営飛鳥歴史公園の新たな地区整備を進めていくこととし、キトラ古墳周辺地区の整備テーマを次のように設定する。

キトラ古墳周辺地区整備のテーマ

キトラ古墳の保存と活用、および檜隈寺跡などの周辺の歴史遺産を生かし、東アジアにおける交流で培われた歴史が訴える古代の時空間、生活文化を歴史と共に育まれた風土の中で体験・学習・交流し、地域の活性化に資する公園づくり